

2015年度 研究助成基金

成果報告書

加藤文俊研究室 フィールドワーク展Ⅻ こたつとみかん

加藤文俊研究室 4年 枡野由香

実施概要

展覧会名：フィールドワーク展Ⅻ こたつとみかん

会期：2016年2月6日（土）- 8日（月）

時間：11時 - 19時（最終日は15時まで）

会場：BUKATSUDO（株式会社リビタ）

横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 ランドマークプラザ 地下1階

ホームページ：<http://vanotica.net/fw1012/>

実施目的

大学関係者やフィールドワークでお世話になった方など様々な来場者に対し、学部生グループワーク、卒業プロジェクト、院生研究など、1年にわたる本研究室全体の成果を公開する。また本展覧会をどのように設計すればより居心地のよい場づくりができるのか、細部にわたり試行錯誤しながら自分たちの手で工面すること自体も本研究室の学問領域・研究対象である。



卒業プロジェクト展示の様子
@BUKATSUDO「HALL」



学部生グループワーク・院生研究展示の様子
@BUKATSUDO「KITCHEN」



本研究室1年の活動の軌跡を表した壁
@BUKATSUDO「HALL」



キッチンを利用し、食事の提供
@BUKATSUDO「KITCHEN」

成果

3日間でのべ274人もの来場者に足を運んでいただくことができた。昨年行った同展覧会は4日間で304人の来場者だったため、会期が短いにも関わらず多くの方に見ていただけたと考えている。

会場であるBUKATSUDOにはキッチンがあったので、会期中は毎日何かしらの料理を来場者にふるまっていた。自分たちの成果物をただ見せるのではなく、何かを片手に語らうような展示設計ができたため、来てくれた方と多くのコミュニケーションをとれた。狙い通りというべきか、「こたつとみかん」の展示タイトルに込めた想いの通り、つつい長居してしまったという来場者の声もいくつかアンケートに寄せられた。

今後の課題

今度も継続して、人びとが集まる場づくりのよりよい設計を考えていく。またそれに見合った展示物の内容も検討していく。本展覧会は来年で13年目を迎えるが、こうしてある程度のノウハウができていいる今こそまた新たな気持ちであらゆることを再考する必要があるだろう。研究室にとって、よりよい発展ひいては研究ができるようにこれからも尽力したい。